

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	嚥下障害(成人)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水3・4	教室名	603
担 当 教 員	名古屋将太郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 テキスト / 講義資料に沿って学び、実際の症例を踏まえて具体的な内容を紹介する。 評価や訓練方法を実技を交えて行う。症例検討などはグループワークを通じて実施する。 ・グループワークを通じて症例検討を実施する。						
《成績評価の方法と基準》 定期試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 (教科書)よくわかる嚥下障害改訂第3版 (参考書)藤島一郎:動画でわかる摂食・嚥下リハビリテーション 中山書店、廣瀬 肇:実践 内視鏡検査(VE)動画でみる嚥下治療マニュアル インテルナ出版日本摂食嚥下リハビリテーション学会(JSDR)会誌:17(1) 87-99, 2013、18(1) 55-89, 2014、18(2) 166-186, 2014						
《授業外における学習方法》 毎回の講義を振り返りまとめてください。						
《履修に当たっての留意点》 1) 嚥下障害概論(1年次必修)のポイントを十分におさえておきましょう。2) 評価方法や訓練手技など、実技を通じて行います。3) 主体性を持って学び、探究心を持って臨んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害の概論を理解する	教科書・資料	嚥下障害概論(1年次必修)のおさらい	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害概論①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害の概論を理解する	教科書・資料	"	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害概論②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の症状を理解する	教科書・資料	(予習)各検査方法	
		各コマにおける授業予定	症状とスクリーニング①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の症状を理解する	教科書・資料	"	
		各コマにおける授業予定	症状とスクリーニング②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害の評価を理解する	教科書・資料	"	
		各コマにおける授業予定	評価と診断①(嚥下造影検査ほか)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害評価方法を理解する	教科書・資料	〃
		各コマにおける授業予定	評価と診断②(嚙下造影検査ほか)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下腫蓋の評価方法を理解する	教科書・資料	〃
		各コマにおける授業予定	評価と診断③(嚙下内視鏡検査ほか)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害の評価方法を理解する	教科書・資料	〃
		各コマにおける授業予定	評価と診断④(嚙下内視鏡検査ほか)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	歯科口腔の問題とケアを理解する	教科書・資料	(予習) 歯科口腔疾患 / 補綴物ほか
		各コマにおける授業予定	歯科口腔の問題とケア		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害の重症度と誤嚥の分類を理解する	教科書・資料	
		各コマにおける授業予定	重症度と誤嚥の分類		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害のリハビリテーションを理解する	教科書・資料	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション①(治療計画とゴール設定)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害のリハビリテーションを理解する(関節訓練)	教科書・資料	(予習) 訓練方法 / 内容
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション②(間接訓練①)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害のリハビリテーションを理解する(関節訓練)	教科書・資料	(復習) 訓練手技ほか
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション③(間接訓練②)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害のリハビリテーションを理解する(直接訓練)	教科書・資料	(予習) 訓練方法 / 内容
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション④(直接訓練①)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚙下障害のリハビリテーションを理解する(直接訓練)	教科書・資料	(復習) 訓練手技ほか
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション⑤(直接訓練②)		